

審議会意見とりまとめ

項目検討資料 番号	審議委員意見	理由	事務局案	調査票 問番号
問1 削除	(選択肢) 社会通念・習慣・しきたり	他の項目で十分満たしている	国や福岡県の調査にはあり、残すこととする	問1
問3 修正	質問の仕方が誘導的	どちらか一人だけ働くのが前提のように受け取れる	性別役割分担意識の質問で、全国的に統一されており、この質問の仕方とする	問1
問3 修正	男性が主として家計を担うべきである、女性は家事育児をすべきである	固定概念を上書きする必要があるか	夫婦での役割分担を前提としているため、夫と妻の記載としたい	問3
問3 修正	男は外で働き、女は家庭を守るべき	男女の分け方ではどうか		問3
問4 修正	家事の取組を詳細に分けて聞いた方がいい	家事では広範囲すぎるため	掃除や洗濯などどれをやっているだけでも家事をやっていることとなる。また家事の内容ごとに尋ねても、結果を施策に反映しづらいため、家事にまとめた問とする	問4
問5 修正	しつけという表現はなくてもいい	虐待も思い起すため	削除し、(子どものために時間を使うこと全般)を追記	問5
問5 修正	子どもがいない人も家事・育児・介護時間を意識調査として尋ねてもいいのでは		家事・介護については、子どもの有無に関係なく聞いている。実際やっている時間は意識ではなく現状なので、対象者に限定している。 問7 8 9については、子どもの有無に関わらず意識調査として尋ねている	問4 問6 問7 問8
問7 修正	女性は男性と同等に経済的に自立するために自分の考えをもつべき	自分の考えを持つこと、経済的に自立すると、職業教育といろいろ聞きすぎ	問9で包括しているため、削除	削除
問7 修正	男の子も女の子もという聞き方がいい	時代的に古い尋ね方に見える		削除

問7 修正	男の子も女の子もという聞き方がいい	男の子は経済的に自立できるような教育が必要という意識を持っている前提になっている		削除
問7 修正	現在もやっているが、より一層必要であるという文面になればいい	女の子には教育をしていないように受け取れる		削除
問7 削除		それほど必要性がない		削除
問8 削除		大切なのは技術よりも意識のため	施策に反映しづらいため削除	削除
問9 削除		大人になっても学ぶという時代のため	親の教育方針が子どもの将来に影響を与えるため残す。	問7
問9 追加	最終学歴だけでなく、男の子に女の子より高い教育を受けるべきかどうかという問はどうか		調査票では、それぞれの目標を聞いて、その差がある場合の問も設定している	問7-1 問7-2
問13 修正	フレックスタイム制度の注釈を修正	フレックスタイム制度＝時差出勤制度ではない	(自身で出退勤時間を設定できる)に修正	問10 問15
問15 修正	取得しにくい理由ではなく、取得しやすくするにはと尋ねる		問題点から対策を検討するため、このままとする	問12
問16~19 削除		問15までの質問で、家庭生活における両立の課題や職場での相互理解・制度の壁については洗い出せる	問18、19は類似だったため19は削除。問16、17、18は、ワークライフバランスの確認で残しておきたい	問13 問14 問15
問20 修正	過去〇年でと期間を区切る	取組の成果を図るため	過去5年に区切る	問16
問20 修正	ハラスメントは全員に問うどこであったかを問う		全体に広げると施策が打ちにくいいため、働くうえでの制限をかけたい	問16
問21 修正	セクハラとパワハラを分けた方がいい	セクハラとパワハラでは内容が違うため	調査票の回答選択肢において分けている	問16
問22 追加	望む理由を追加	望むかと尋ねているため	望まない理由から対策を検討するため、この問のみとする	問18-1

問 22 削除		自分ごととしてとらえられる人はごく一部だと思うため、企業アンケートで調査の方がよい	意思決定が必要とされる役職は、管理職だけではなく色々あるため、全員に自分ごととして考えてもらう	問 18
問 25 修正	配偶者からの暴力を最後にもってきた方がいいのではないか	男女共同参画の質問の間に暴力の質問が入ると混乱する	暴力防止も男女共同参画の一環なので、順番はこのままとする	問 21
問 25 修正	選択肢に「大臣」「スポーツチームの監督」を追加		国の記載に合わせ、閣僚（国務大臣）を追加	問 20
問 25 修正	大学教授ではなく、大学の管理職または大学の教員（教授など）	大学教授は管理職もいるが、そうではない人もいるため	国の項目に合わせ、大学教授という職について尋ねているため、大学教授、学長に修正	問 20
問 25 修正	医師・歯科医・薬剤師、医療機関の管理職ではどうか	医療職という表現の範囲が広い	国の項目に合わせ、医師・歯科医師に修正	問 20
問 26 修正	過去〇年でと期間を区切った方がいい	今までやってきた取組の成果を図るため	DVについては、過去の経験も長きにわたり影響が出ることも多いので、区切らない	問 21
問 30 修正	男女共同参画の意味を記載した方が回答しやすいのではないか	取組といっても、男女共同参画の意味がわからないと答えられない	アンケートのお願いの本文中に、男女共同参画社会の実現の記載を入れることで対応	問 24
F1 修正	性別は男女以外もある方がいいのでは		「その他」を追記	F1
F1	男女以外でその他を追加			F1
F 2 修正	10代を挿入	18歳以上が対象のため	10代を追加	F2
追加	時短家事の工夫について	女性活躍に必要だと思うため	計画に反映しづらいため、含めないこととしたい	なし
追加	選択的夫婦別姓への賛否		当県として、選択的夫婦別姓を推進しているわけではないので、結果を施策に反映しづらいため、今回は含めないこととしたい	なし
追加	候補者男女均等法への賛否	日本はグローバルジェンダーギャップ指数の政治分野の数値が低い	意思決定の場へ女性が参画することの是非は尋ねており、均等法の賛否の結果のみでは施策に反映しづらいため、含めないこととしたい	なし

追加	女性の貧困率が高いこと、社会から孤立しやすいことをしているかどうか		女性の貧困等は社会的問題だが、認知結果のみでは施策に反映しづらいため、含めないこととしたい。一人親家庭の貧困や社会的孤立については、子ども家庭課の対応策を参考に計画を策定したい	なし
追加	女性が決定権のある地位につくことで社会が良くなると思うか		問 24 に類似の質問あり	なし
追加	女性活躍を推進するため、管理職に女性が増えるために必要な施策		少ない理由を問う設問はあるため、そこから必要な対策を検討する	なし
追加	健康に関する定点調査項目 健康経営、女性のヘルスリテラシー、貧困層の健康リスクなどのデータ	安全・安心に暮らすことができる社会づくりのためには必要ではないか	働く女性の健康について特化した調査は、県としてはどの部署においても実施していない。なお、国においては、厚労省が実施している。 健康面の調査を加える場合、少ない調査項目では結果は出せない。男女の健康全般については、健康増進課の「佐賀県健康プラン」に基づいて、また女性の妊娠出産、貧困等については子ども家庭課の「ひとり親家庭等自立促進計画」や施策に基づき男女計画の検討にあたりたい。また、職場における長時間労働の削減や労働環境の整備については、産業人材課の「労働条件等実態調査」等を参考に検討するため、本調査には含めないこととしたい	なし
追加	女性管理職の比率、女性採用の比率 男女の就業年数・有給取得状況 男女の育休・介護休業取得状況	個人調査のみのため、難しいかとは思いますが、事業所関連の動向数値があると、総合計画策定上役立つと思われる	産業人材課の「労働条件等実態調査」や当課で実施する女性の活躍推進佐賀県会議を対象とした調査等で実施しているため、本調査には含めないこととしたい	なし